新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	緑内障の臨床経過に関する後ろ向き観察研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2005 年１月以降に新潟大学医歯学総合病院眼科緑内障専門外来を受診した 20 歳以上の患者さんが対象になります。緑内障眼、および他の眼疾患を有さない臨床的正常眼を対象とします。	
③概要	
緑内障は日本人の４０歳以上の約５％と高頻度で罹患し、日本の中途失明原因第一位の疾患です。治療の目的は進行を遅らせることですが、診断や進行の評価法などのさらなる進歩が必要と考えています。私たちは今後の診療に役立てるため、当院で診療が行われた患者さんの検査結果を調べ、緑内障の診断や進行の評価に有用な検査法や進行抑制に効果的な治療法について検討することにいたしました。	
④申請番号	2021-0352
⑤研究の目的・意義	緑内障診断や進行評価に有用な検査法や進行抑制に効果的な治療法が明らかとなれば、将来の緑内障患者さんに対する恩恵は大きいと考えます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から２０２７年３月３１日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	当院眼科を受診された患者さんについて、新潟大学医歯学総合病院に保管されている診療録を調査し、既存データを収集します。 使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴、細隙灯検査、視力検査、視野検査、眼圧検査、屈折度、眼軸長、中心角膜厚、Ocular response analyzer、NEI VFQ-25、前眼部 OCT、超音波生体顕微鏡（UBM）、眼底写真、後眼部 OCT、OCT アンギオグラフィー
⑨利用する者の範囲	新潟大学　眼科　教授　福地健郎 新潟大学　眼科　准教授　赤木忠道 新潟大学　眼科　助教　坂上悠太 新潟大学　眼科　助教　五十嵐遼子 新潟大学　眼科　助教　飯川龍 新潟大学　眼科　大学院生　小林大悟 新潟大学　眼科　医員　有松真央 新潟大学　眼科　医員　石川浩子 新潟大学　眼科　大学院生　李超

	新潟大学病院　診療支援部　視能訓練士　氏名　落合竣 新潟大学病院　診療支援部　視能訓練士　氏名　宮本大輝 新潟大学病院　診療支援部　視能訓練士　氏名　押切寧々 新潟大学　眼科　視能訓練士　氏名　松浦将人 新潟大学病院　診療支援部　視能訓練士　氏名　市村美香 新潟大学病院　診療支援部　視能訓練士　氏名　清野成美 新潟大学病院　診療支援部　視能訓練士　氏名　多々良ふう子
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	本学：新潟大学　眼科　教授　福地健郎
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学　眼科 氏名：赤木忠道 Tel：025-227-2296 E-mail：arasan@med.niigata-u.ac.jp